



うきはは市内にある大規模業務用クリーニング「エルスうきはリネン工場」(三洋ビル管理株式会社)。同工場では長年、医療業界や食品業界のユニホームクリーニングを行っており、これまでスポーツ選手のユニホームクリーニングを取り扱ったことはありませんでした。

今回は、ある出会いをきっかけに、昨年12月から選手のユニホームクリーニングを通じて、ルリー口福岡を応援している「エルスうきはリネン工場」を紹介します。

## 重なる地域への想い

チームサポーターへの声かけの一環で三洋ビル管理株式会社を訪れた黒川ラファイ選手が同社の仕事内容を聞き、担当の江口さんに「私たちのチームのユニホームを洗ってもらえませんか?」と声をかけたことがきっかけでした。

ラグビーに詳しくなかった江口さん。最初は戸惑ったものの、地域に貢献したいという思いから前向きに検討することに。また、同社の会長である石橋幸男さんは福岡県立浮羽高等学校(現・浮羽探究真館高校)の卒業生。地域の発展を願う思いが社内で重なり、ユニホームのクリーニングプロジェクトがスタートしました。



## 職人技で選手をサポート

これまで、ルリー口福岡のユニホームはスタッフ1人が選手23名分のユニホームを手洗いしていました。しかし、激しいプレーで泥だらけになった大量のユニホームの手洗いは、洗濯の専門知識のないスタッフたちにとって負担が大きく、また、ケガの出血、泥や草のシミなど、ただ洗うだけでは落とすことのできない汚れでした。

江口さんは洗剤メーカーと一緒にユニホームの洗浄方法を試行錯誤し、テストクリーニングを繰り返し返して、汚れを綺麗に落とす方法を編み出し、美しく洗濯されたユニホームを選手たちのもとへ届けています。



昨年12月、江口さんは初めて家族と一緒にルリー口福岡の試合を観戦しました。初めて目にしたラグビーの迫力に圧倒されるとともに、必死に戦う選手の姿に感動しました。試合を見て、選手たちの動きを観察したことで、より良いユニホームのクリーニング方法を考えることに役立ちました。

江口さんの想いと取組みが工場全体に広がり、今では工場全体でルリー口福岡を応援しています。

## 地域とともに進む

ルリー口福岡は地域の皆さんからのサポートに支えられています。その期待に応えられるよう、ジャパンラグビーリーグワンが掲げるビジョン「あなたの街から、世界最高をつくらう。」を胸に、いつも応援してくれるうきは市の皆さんと一緒に、選手たちは、地域に活力を届けるため邁進しています。